

<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	7
PTA(学校)名	愛知県立春日井西高等学校PTA		部門No. 2(ノンジャンル)
活動テーマ	「西高祭(学校祭)文化の部」におけるPTA企画「レザークラフト作り」		
キーワード	思い出作り	レザークラフト作り	LINEオープンチャット
開催日	令和4年9月20日(火)		
場所	愛知県立春日井西高等学校会議室		
時間	午前10時00分から午後2時00分まで		
参加者	当日参加したPTA役員・理事(保護者等)=23名 生徒の参加 タッセル作り=約70名、キーホルダー作り=約80名		
趣旨	3年ぶりに行われる「西高祭 文化の部」で、従来PTAが取り組んでいた食品バザーに替わる企画として「思い出作り」に重きを置き、形が残るものを作ってもらうことを意図し、レザークラフト(タッセル、キーホルダー)作りを行うこととした。		
活動ポイント	生徒もPTA役員・理事も「西高祭 文化の部」を初めて経験する中で、思い出になるものを自分の手で作ることを重視した。		
主体委員会名・講師名等	PTA役員・理事		
<p>1 本校PTA組織及び連絡方法等について 役員7名、理事31名が活動の中心となっている。今年度は、役員の発案で、役員同士、役員・理事同士の連絡方法としてLINEのオープンチャット(以下「LINE」と称する)を用い、管理職及び総務主任もそれぞれのグループに参加した。これを利用することにより、各種の連絡等を早く確実に伝えることができ、また、自由に意見を出し合うことができるようになった。さらに、「イベント」欄に会合の出欠を入力することができるなど、さまざまな情報の共有が可能となった。</p> <p>2 「レザークラフト作り」に決まるまで コロナ禍の前はPTA企画として喫茶室(食品バザー)に取り組んでいたが、コロナウイルスが終息を迎えていない中で食品バザーに替わる企画を模索することになった。さまざまな案が検討されたが、3年ぶりの「西高祭 文化の部」であり、特に3年生にとっては最初で最後の「西高祭 文化の部」であるということを考慮し、「思い出作り」という点を重視し、形に残るものを作成する「ワークショップ」を行う方向で考えがまとまった。その後、役員間のLINEでのやり取りや対面での話し合いを経て、6月下旬に「レザークラフト(タッセル、キーホルダー)作り」に取り組むことを決定した。</p> <p>3 準備日程 ◎6月下旬 レザークラフト作りを行うことを、LINEを通じて役員から理事に伝えた。当日は役員・理事が生徒に対して作り方を教えることになるため試作が必要であることも伝え、さらに、道具の提供も呼び掛けた。役員と教員とで試作の日程を決め、LINEを通じて理事に伝え、「イベント」欄で出欠確認を行った。 ◎7月19日(火) 本校の会議室で行った試作会には、役員5名、理事14名が参加した。経験者が作り方を教えながら試作を行い、当日予想される問題点や当日の大まかな流れ、当日までに必要な準備等について検討した。 ◎8月18日(木) 役員4名、理事1名が本校の会議室でより詳細な内容について検討し、さらに、校内に掲示するためのポスターや「文化の部」パンフレットに掲載する紹介原稿を作成した。 ◎8月下旬 当日の出欠確認をLINEを通じて行った。 ◎9月10日(土) 役員5名、理事1名が本校会議室で、当日の必要物品等の確認と役員・理事の担当割り振りを行った。</p>			

◎当日までの期間  
上記の集まりとは別に、役員が中心となって当日必要な材料や道具の調達、下ごしらえ等を行った。

4 当日  
◎午前10時に開始できるよう、午前8時過ぎから役員が会議室に集まり、会場設営を行った。  
◎人員配置は、  
午前 受付2名、タッセル作り5名、キーホルダー作り8名  
午後 受付2名、タッセル作り5名、キーホルダー作り9名  
であり、役員7名(全員)、理事1名は午前・午後ともに参加したため、実人数は23名であった。  
◎材料は100ずつ用意し、実際に体験をしたのはタッセル作り約70名、キーホルダー作り約80名であった。参加生徒が短時間に集中することはなく、「密」状態になることはなかった。

【写真】  
左上=7月19日 試作会、左下=校内掲示用ポスター  
右上=当日 全景、右中=当日 タッセル作り、右下=当日 キーホルダー作り

